

令和4年度

南国市教育委員会事務局
自己点検・評価に向けた
説明会

令和4年5月26日(木)

南国市教育委員会事務局
学校教育課
生涯学習課

21世紀を担う子どもたちの「生きる力」を育む保育・教育の推進

○「六育」に共通する取組

		[成果]	
		[課題]	
1	小中連携 学力向上プロジェクト事業 (アクションプラン)	<p>[取組予定] 南国市教育振興基本計画及び第2次南国市保幼小中連携学力向上推進プラン：目標</p> <p>①チーム学校として組織的な学力対策で、全国学力・学習状況調査、高知県学力定着状況調査及び標準学力調査の全教科において、同一集団（学年）の全国平均正答率に対する通過率が、前年度より上昇する。</p> <p>②「C評定」等に該当する児童生徒が、令和元（平成31）年度各種調査より、令和4年度には減少する。</p> <p>③全国学力・学習状況調査で測る教科において、「授業がよくわかる」の項目で「当てはまる」の割合が、全国以上になる（児童・生徒質問紙より）。また、全国学力・学習状況調査で測らない教科において、「授業がよくわかる」の割合が、小学校では50%以上、中学校では40%以上になる。</p>	<p>↑ 成果度</p> <p>方向性→</p>
2	安心・安全な学校 プロジェクト事業 (アクションプラン)	<p>[取組予定] 小中連携で安心安全な学校づくりを推進するためにより価値のある学習の提供や、いじめや不登校、児童虐待等の対策として、児童生徒に寄り添った教育が行われるように務める。また、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え育む体制づくりを目指す。</p>	<p>↑ 成果度</p> <p>方向性→</p>

3	<p>【取組予定】 年2回のQ-Uアンケートや引き継ぎシートを活用した積極的な生徒指導を行う。また、不登校等学習支援員を南国市の全中学校に配置する。年2回不登校対応の中核的な働きをする小中学校の担当者を一堂に会し、学校相互の不登校対応に関する情報交換を行い、全市的に不登校対応の充実・強化を図り、不登校の未然防止や不登校者の減少に努める。</p> <p><目標>1,000人当たりの新規不登校児童生徒数 小学校2.0人以下。中学校20.0人以下。 (第3期高知県教育振興基本計画 令和5年度末) 不登校プラスワン 未然防止等事業 (アクションプラン)</p>	<p>【成果】</p> <p>【課題】</p>
4	<p>【取組予定】 社会全体の教育力の向上及び地域の活性化を図るために、保護者や地域住民等が学校運営に参画する取組の一つであるコミュニケーション・スクール（以下、CS）の体制整備を行う。そのためには、中学校ブロックや各校へCSディレクターを配置し、令和5年度までの全小中学校での学校運営協議会設置に向けて、地域と学校をつなぐ体制を整えた。 また、管理職とCSディレクターが、地域とともに推進する学校についての共通理解を図ることができるよう研修会を実施した。</p> <p>コミュニケーション・スクール 推進体制構築事業 (学校運営協議会)</p>	<p>【成果】</p> <p>【課題】</p>

5	大篠小、香長中 十市小、後免野田小、長岡小、岡豊小	<p>【成果】</p> <p>【取組予定】教員が本来の教育活動に専念できるよう専門性を必要としない業務を変わつて行う「校務支援員」を南国市立小中学校に配置することにより、児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制整備など、教員の業務負担の軽減を図り、学校教育活動の充実につなげる。</p> <p>【目標】</p> <p>①チーム学校を実現し、学校全体の業務の効率化を図るために、令和3年2月までの時間外勤務時間を基本として、令和4年2月までの平均時間が5%削減している。</p> <p>②教諭等が子どもと向き合う時間や教科研修の時間を確保するために、6・10月の県教委作成の教職員意識アンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「子どもに向き合う時間が増えた」と感じる教員の割合について <ul style="list-style-type: none"> (1) 10月は6月より上昇している。 (2) 10月はさらに70%以上になっている。 ○「多忙感の軽減に繋がった。」と感じる教員の割合について <ul style="list-style-type: none"> (1) 10月は6月より上昇している。 (2) 10月はさらに70%以上になっている。 	<p>↑ 成果度</p> <p>↗ 方向性</p>
6	就学援助費	<p>【成果】</p> <p>【取組予定】経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、就学に必要な援助を行っています。保護者には、家庭配付の手紙や市のホームページ等で周知を図っています。また、申請については随時受け付けを行っており、各学校でも保護者からの相談に対応しています。</p> <p>【目標】</p>	<p>↑ 成果度</p> <p>↗ 方向性</p>

○「智」の取組

		全小中学校	[成果]												
7	到達度把握・学習状況調査 推進事業	<p>[取組予定] 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証することで、南国市の教育課題を焦点化し、小中連携による「学び」の質の更なる向上を図る。</p> <p>[課題]</p> <p>全国学力・学習状況調査</p>	<table border="1" style="float: right; margin-top: -10px;"> <tr><td>↑</td><td>成</td><td>果</td><td>度</td></tr> <tr><td>↑</td><td>方</td><td>向</td><td>性→</td></tr> <tr><td>↑</td><td>成</td><td>果</td><td>度</td></tr> </table>	↑	成	果	度	↑	方	向	性→	↑	成	果	度
↑	成	果	度												
↑	方	向	性→												
↑	成	果	度												
8	一人一台パソコンを活用した「主体的・対話的で深い学び」を実現する 授業改善事業 (アクションプラン)	<p>[取組予定] 授業支援ソフト（Classroomやロイロノート・スクール）のオンライン研修を年始当初に行う。特に昨年度活用が上がらなかつた小学校3校には受けていただく。</p> <p>[課題]</p> <p>学習ドリルソフトについて、5月16日南国市情報教育主任研修会にて、Benesseより商品の説明を行っていただく。また、同研修会にて、中学校のプログラミング教育についても説明をしていただき、小学校と中学校、そして高等学校の一連のつながりも意識できるようにしていく。</p>	<table border="1" style="float: right; margin-top: -10px;"> <tr><td>↑</td><td>成</td><td>果</td><td>度</td></tr> <tr><td>↑</td><td>方</td><td>向</td><td>性→</td></tr> <tr><td>↑</td><td>成</td><td>果</td><td>度</td></tr> </table>	↑	成	果	度	↑	方	向	性→	↑	成	果	度
↑	成	果	度												
↑	方	向	性→												
↑	成	果	度												

9	○「徳」の取組 放課後等学習支援事業	【成果】 全小中学校 【取組予定】 南国市では全小中学校が放課後等の補充学習を実施し、学習のつまづきに早期に対応し、よりきめ細やかな個別指導や家庭学習指導を行っている。そのため、放課後等学習支援員を配置し、放課後の加力学習に向け個々の児童生徒の進度に合わせたプリントの作成や、多くの児童生徒に個別対応ができるような体制がとれるようにして、児童生徒の個々のつまづきについて見て、取りを行って対応をしている。 【課題】 【今後の取組】	↑ 成果度 ↑ 方向性→
10	管内保幼小中学校 スクールソーシャルワーカー (SSW) 活用事業	【成果】 【取組予定】 要保護・要支援の児童生徒（特に不登校等長期欠席児童生徒）及びその心配が懸念される児童生徒に対して、社会福祉等の専門的な知識・技能を用いて環境への動きかけを行い、改善を図るとともに、学校内における校内支援委員会等チーム体制への支援及び関係機関等との効果的・機能的な連携方法についての実践を展開する。 【課題】 【今後の取組】	↑ 成果度 ↑ 方向性→

○「体」の取組

鳴ヶ池中、香南中、北陵中

【成果】

【取組予定】
南国市部活動方ガイドラインの遵守とともに、担当する教職員の負担軽減を図りながら、生徒の自主性や協調性、責任感を育む等、運動部活動の一層の充実を図る。また、地域で部活動に代わり得る質の高い活動の機会を確保できる十分な体制整備に努める。

方向性→

【課題】

運動部活動配置活用事業

11

【今後の取組】

○「食」の取組

たちばな幼稚園、全小中学校

【成果】

【取組予定】
令和3年度より給食費の徴収管理が私会計から公会計に移行した。それにより、南国市の学校教育における食教育や学校給食をよりよく推進するため、新たに学識経験者による南国市学校給食アドバイザーハイツー会議を設置し、今後もアドバイザーハイツー会議を開催し、南国市の食育のこれからを考えていく。

方向性→

【課題】

南国市学校給食 アドバイザーハイツー事業

12

【今後の取組】

成 果 度

成 果 度

成 果 度

○「才」の取組

大篠小学校

【取組予定】

大篠小学校で、様々な支援を必要としている児童に対して、状況に応じて提供する「合理的配慮」の実践事例を蓄積するとともに、適切な「合理的配慮」のための校内体制整備を継続していく。本年度は、特に、自閉症・情緒障害特別支援学級担任の「自立活動」においての指導力の向上を図る。さらに、他の特別支援学級や、通常の学級担任との連携を図りながら、「日常生活の指導」においての指導力の向上を図る。

【課題】

特別支援学級等
専門家活用事業
【合理的配慮】
コーディネーター配置

13

【成果】

【今後の取組】

また、「合理的配慮コーディネーターの会（合の会）」を高知市特別支援教育スープーバイザーの2名とともに学期に1回開催し、各校での取組の現状把握等情報共有を行ふとともに、特別支援教育の充実に向けて、各校の課題となっていることを確認し助言し合う。

管内保幼小中学校

【取組予定】

子どもたちの图画工作・美術活動への関心・意欲を高めるとともに、作品を通して豊かな情操の育成を図ることを趣旨とし、幼児・児童・生徒の部として一般の部と同時開催している。

①絵画②お詫の絵③版画④デザイン⑤彫塑⑥毛筆⑦工作・工艺・立体作品⑧影塑（幼児の部は⑤⑥を除く）

＜審査＞各分野で造詣が深い方々を審査員に迎え、児童生徒の作品を審査

※幼児の部は本年度に無審査化とした。
＜展示＞児童・生徒の部の入選・特選作品、幼児の部、あすなろコーナー（特別支援学級の児童生徒）

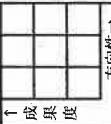
＜講評＞教職員の指導の参考となるよう、幼児の部を含めた審査員による講評のまとめを各校・幼稚園・保育所（園）に配布

南国市美術展覧会開催事業

14

【成果】

【今後の取組】



↑ 成績度

方向性→

○「防」の取組

			[成果]
15	実践的防災教育 推進指定事業	<p>【取組予定】</p> <p>南国市防災教育研修会を開催し、学校安全計画、危機管理マニュアルの見直しや本事業の拠点校である香南中学校の取組を共有する等、実践的防災教育の普及や啓発活動を進めている。</p> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域や関係機関との連携防災実践委員会の開催（年間3回） ②防災意識アンケート実施（年間2回） ③効果的な避難訓練の実施（様々な場面や状況を想定して複数回実施【10回】） ④実践的防災教育推進事業の研究発表会 ⑤南国市岩沼市小中学校交流事業による訪問（夏季休業中：事前学習含む） 	↑ 成 果 度 → 方向性
16	わんわんバトロール事業	<p>【取組予定】</p> <p>子どもたちの安心・安全を見守るために、地域の力を借りた「ながら防犯」に取り組んでいただける方を募集している。さらに、防犯という観点だけでなく、本事業の可能性を探る。</p> <p>【課題】</p> <p>令和元年：3家庭、令和2年：5家庭、令和3年：6家庭の登録。</p> <p>【今後の取組】</p>	↑ 成 果 度 → 方向性

令和4年度新規及び上記事務事業計画表に入っていないもの

事業名	該当校等	取組予定	R4担当者
1 魅力ある学校づくり事業	[拠点校] 鳥ヶ池中　【協力校】長岡小・後免野田小 池川	高知県教育委員会より南国市が委託を受けて「魅力ある学校づくり事業」に取組む。「魅力ある学校づくり事業」とは児童生徒を対象として東団指導で行う「未然防止」に特化した取組で、拠点校ブロックでの公開授業への参加と、取組の振り返りとして毎学年末ごとに高職調査を実施し、検証を行う。	西
2 全国小学校英語実践研究事業	日章小学校	これまで県の課題であった中学校の英語教育について小中学校を見直し、改善していくことを目的として、「学習評価のあり方」の公開受業研究会を実施する。拠点校である日章小学校と連携を図りながら市内小中学校の英語担当教員に公開受業に参加してもらう。	池川
3 自閉症・情緒障害特別支援学級の授業づくり支援事業	大篠小学校	「校内支援体制や南国市内の自閉症・情緒障害特別支援学級担任が互いに学び合うネットワーク体制の構築及び特別支援学級担任の事門性の向上を図る」ことを目的として、「自立活動」の公開授業研究会を実施する。拠点校である大篠小学校と連携を図りながら市内小中学校の自閉症・情緒障害特別支援学級担任に公開授業及び研究協議会に参加してもらう。	江村
4 学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業	全小中学校（希望が丘分校含む）	国の政策であり、南国市は英語が全小中学校に。そして、2教科目として「算数・数学、理科」から選択し、普段の授業等で学習者用デジタル教科書の活用方法を探る。（令和4年度のみの実証事業）	江村
5 共同事務室における教員の働き方改革推進事業	市委委、学校事務支援室	2年目の取組となる。特に令和4年度の主な取組は、「教諭等及び学校事務職員の標準的な職務の明確化に係る学校管理規則」の改正である。南P定期総会や南国市教職員衛生委員会及び校長会・教頭会との連携を図りながら行う。校務支援員配置事業及び運動部活動指導員配置事業とも連携する。	江村
6 ゆるやかな学期スタート研究指定校事業	北陵中ブロック・香南中ブロック・香長中学校	上記「5 共同事務室における教員の働き方改革推進事業」の中の取組として行うこととし、今年度は左記の中学校ブロック等取り組み、検証を行う。	江村・高橋
7 授業づくり講座（国語）	北陵中学校	学習指導要領が目指す授業づくりを推し進めるとともに、日常的に授業研究に取り組み風土づくりを行い、自ら学び��け、共に高め合う教員の育成を目指すことを目的に、（教材研+授業研）を1セットとし、年間2セットを実施する。	西
8 不登校支援推進プロジェクト事業	香長中学校・教育支援センターふれあい	事業実施期間2年間の2年目となる取組。香長中学校では、校内適応指導教室が校内での安心できる居場所として機能し始める。また、教育支援センターを利用する児童生徒の割合も増えてきた。しかし、不登校出現率は令和3年度増加したことから、個別の指導計画や支援シートを活用した取組や各機関との連携強化、支援委員会等の充実。また、ICTを活用した学校との交流等、不登校児童生徒の自立支援に向けた重層的な支援体制を強化していく。	池川
9 実践協働校事業	大篠小学校・香長中学校	2年目の取組となる。持続可能な事業改善体制の構築を目指して、「主体的・対話的で深い学び」を2校は拠点校として取組んできた。その資質・能力を育む授業づくりの過程を動画に収め発信する等、令和の高知型教育実践モデル校として普及に努めている。今年度は、「算数・数学」及び「理科」について小中が連携し、9年間を通じた教育課程について考え、单元づくりを研究していく。	池川
11 メンター制を活用した実践研究事業	小学校8校（十市小・三和小・大篠小・日章小・後免野田小・長岡小・国府小・久礼田小）、中学校4校	・初任者をはじめとする若年教員の割合がこれまでになくなってしまったおり、効果的な教育技術の継承が求められている。そのため、高知県教育センターににおける研修の機会以外に、各学校において日頃の業務を遂行しながら教員を育成することがこれまで以上に重要となっている。そこで、チーム内で学び合う仕組みについて研究する学校、小学校8校（十市小・三和小・大篠小・日章小・後免野田小・長岡小・国府小・久礼田小）、中学校4校に研修コーディネーターを配置し、日常的なOJTの活性化を図る。	池川

12 南国市人権教育研究会	全校	本年度は半日開催で計画をしている。新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインも効果的に活用するようにしている。	戸田
13 山の学習支援事業	鷲ヶ池中	・南国市で唯一学校林を所有している薦が池中学校がこの事業をうけている。総合的な活動の時間と位置付け、歴史ある学校林の活用を通して、森林環境の大切さを学ぶとともに、環境問題に対する意識の高揚をめざしている。また、地域・保護者の理解と協力を得るとともに、地域とのつながりを深め、ともに伝統を引き継ぐ生徒を育成することを目的としている。各学年1回は山に行き、伐木等の整備作業をおこなっている。	池川

すべての世代の人々が「心豊かに学び続ける社会」を目指した生涯学習の推進

(1) 地域全体で学校教育を支援する体制づくりの推進	全小中学校	[成果]	
1 地域学校協働本部事業	[取組予定] 地域が学校と連携して子どもものの見守り、授業補助、放課後等の学習支援を行うことで、地域・家庭の教育力を向上させ、教員が子どもに向き合う時間を確保することを目標としている。 [今後の取組] [課題]	[成 果度]↑ 成 果 方向性→	
(2) 地域住民が主体的に学び楽しむ生涯学習の推進	①高齢者教室の充実	[成果]	
2 高齢者教室事業	[取組予定] 教室生としておおむね65歳以上の方を公募し、健康教室や歴史教室・環境問題・交通安全など、様々な学習を市内8教室で年10回ずつ開催している。 移動教室等、高齢者にとって 楽しみや生きがいとなっている。 [今後の取組] [課題]	[成 果度]↑ 成 果 方向性→	

3	成人式 (名称は、未定)	②公民館活動の充実 20歳の対象者	<p>【取組予定】 新成人の新しいスタートを祝福し、社会人としての認識を高めることを目的にし、帰省者もしくは、1月3日に実施日を固定し式典を開催する。</p> <p>【成果】</p> <p>【課題】</p> <p>【今後の取組】</p>
4	公民館活動事業	市全体	<p>【取組予定】 南国市立18公民館（17地区公民館及び中央公民館）の事業支援や施設管理を行っている。公民館は、地域住民にとっての身近な生涯学習施設というだけではなく、「地域コミュニティの拠点」としてもその役割が期待されている。地区公民館では、三世代交流や文化祭、講演会や各種サークル等、それぞれの地域性が生かされた事業が行われている。</p> <p>公民館は、災害時の避難所に指定されており、「地域の防災拠点」としての役割も担っている。</p> <p>【成果】</p> <p>【課題】</p> <p>【今後の取組】</p>

(3) 人権尊重の理念の普及・高揚を図るための啓発事業・人権学習の推進

①人権教育の推進	市全体	【成果】	
		高知県の掲げる11の人権課題について具体的な人権教育・啓発の取り組みについて示していることから、南国市でも様々な人権のテーマについてスマイリーハート人権講座で取り上げた。	方向性↑ 成 果 度
5 人権啓発事業	<p>【取組予定】スマイリーハート人権講座（高知県人権啓発活動委託事業）</p> <p>全4回の講座の実施（10月）により啓発を図った。参加者延べ190名。アンケートによると、満足度は88%。広報・人権学習シリーズの掲載では、人権啓発広報委員会の委員5名が交代で執筆を担当し、人権について様々なテーマで「今後の取り組み」、「これまでの取り組み」、「問題」として、現状や課題などを紹介した。</p> <p>【課題】コロナ禍ということもあり、本来呼べる人数の三分の二程度しか集まらない。オンラインでの開催も視野に入れる必要がある。</p>	<p>【成果】</p> <p>高知県の掲げる11の人権課題について具体的な人権教育・啓発の取り組みについて示していることから、南国市でも様々な人権のテーマについてスマイリーハート人権講座で取り上げた。</p> <p>【課題】コロナ禍ということもあり、本来呼べる人数の三分の二程度しか集まらない。オンラインでの開催も視野に入れる必要がある。</p>	↑ 成 果 度 方向性→
6 男女共同参画事業	<p>令和4年度より、総務課じんけん係へ業務移行</p> <p>司参画について啓発を続けて進められなかつた。</p> <p>市内小学校3校で男女共同参画推進出前教室を行い、高学年向けに初めて触れる「男女共同参画」について、自分らしくいることの大切さを伝えた。</p> <p>広報2月号には、育児介護休業法の改定について、見開き2ページの特集を掲載した。</p>	<p>【成果】</p> <p>あらためて認識できた」、「今後も勉強していきたい」とことから、理解を深めた。</p> <p>或協働学部の講師に地域にお夫婦別姓を認めないのは人た。</p> <p>司参画について啓発を続けて進められなかつた。</p> <p>市内小学校3校で男女共同参画推進出前教室を行い、高学年向けに初めて触れる「男女共同参画」について、自分らしくいることの大切さを伝えた。</p> <p>広報2月号には、育児介護休業法の改定について、見開き2ページの特集を掲載した。</p>	↑ 成 果 度 方向性→

(4) 魅力あふれる生涯スポーツの振興

		↑ 成果度 方向性→	
①生涯スポーツの推進			
7	市民体育大会	<p>【取組予定】</p> <p>第60回市民体育大会を開催予定。</p> <p>日程の詳細については未定。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、状況によっては日程延期等の対応を取りつつも、広報などを通じて参加を広く呼びかけることにより、気軽に参加できる大会として展開していく。</p>	<p>↑ 成果度 方向性→</p>
8		<p>【取組予定】</p> <p>市全体</p> <p>【課題】</p> <p>【今後の取組】</p> <p>平成30年度から引き続き、第2期高知県スポーツ一推進計画の柱の1つであるスポーツ参 加の拡大のための地域スポーツクラブの取り組みを開始している。誰もが気軽にスポーツを楽しむことができることを目的とした生涯スポーツクラブの普及と振興のため、総合型地域スポーツクラブ「まほろばクラブ南国」を核として、スポーツや福祉関係団体等が連携し、スポーツに関する情報の一元化や提供などをを行うことにより、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進する。4年度についてもコロナ禍の中ではあるが県の対応ステージに応じた感染症対策を取りながらイベントを開催することとした。</p> <p>例年開催しているイベントについて、今年度も開催予定。</p> <p>スポーツ推進委員連絡協議会等と連携したニュースポーツ及び生涯スポーツの普及・総合型スポーツクラブとの協働</p>	<p>↑ 成果度 方向性→</p>

「さわやか健康ウォーキング大会」（毎年10月開催）
 「スポーツフェスティバル」（毎年2月開催）

総合型地域スポーツクラブ「まほろばクラブ南国」は、南国市スポーツ協会や南国市スポーツ推進委員連絡協議会等の協力を得て、市民や地域に活動の輪を広げている。

		↑成績度	↑方向性
市全体			
【取組予定】		【今後の取組】	
・高知県予選を経て全国大会に挑む団体（一般・少年）に対し、全国大会参加補助金を助成している。		・小学生駅伝競走大会（11月）、南国市駅伝競走大会（2月）その他、各連盟と連携して大会を開催予定。 （高知県勤労者剣道大会、高知県柔道大会、市长杯小学生野球大会）	

スポーツ協会との連携による競技スポーツの振興と競技力の向上

(5) 地域における青少年健全育成活動

	①青少年の健全育成	市内全域	【成果】	↑ 成果度 方向性→
10	補導活動	【取組予定】 ・年間を通じて登下校の時間帯に合わせて青色回転灯パトロールカーで各校区を巡回し、児童・生徒等への見守り、声かけを実施。 ・地域や学校等から喫煙や怠学等の連絡があれば、その都度関係機関と連絡を取り合い情報共有。 ・補導委員の確保。	【課題】 【今後の取組】	↑ 成果度 方向性→
11	健全育成活動	市内全域	【成果】	↑ 成果度 方向性→
	(6) 心を育む読書活動の推進、市民の求める情報提供	市全体	【成果】	↑ 成果度 方向性→
12	図書館活動	【取組予定】 ①資料収集及び提供 新型コロナウイルスの感染拡大があつても、市民の暮らしに役立つ資料収集や情報提供を行ない、図書館の役割を果たすため、できる限り開館を継続していく。新型コロナウイルスやワクチンに関する資料については、特に幅広い観点で資料収集を行い、市民への情報提供に努めていく。	【課題】 【今後の取組】	↑ 成果度 方向性→

13	図書館活動	[市全体] 〔成績〕 [取組予定] 「第3次南国市子ども読書活動推進計画」（令和2年度～令和6年度）に基づき、「子どもと本を結ぶ人づくり」、「本が身近にある環境づくり」という2つの基本方針に沿って、生涯学習課、学校教育課、子育て支援課、保健福祉センターにおいて取り組みを進めていく。南国市子ども読書活動推進委員会を開催して計画の進捗管理を行っていく。	[市全体] 〔成績〕 [課題] [今後の取組]
14	(7) 地域の豊かな市民文化の創造 ①文化財の保存・活用	[市全体] 〔成績〕 [取組予定] 文化財審議委員会を開催し、将来にわたって残すべき文化財の指定を行っている。 市内の指定文化財を年2回パトロールして、保存状態などを確認している。 指定文化財を訪れた人が分かりやすいように説明看板を設置し、適宜補修をしている。 文化財を広く知つもらうために広報誌への掲載や、出版物を作成して配布や販売を行なっている。	[市全体] 〔成績〕 [課題] [今後の取組]
15	文化財の保存、活用事業	[市全体] 〔成績〕 [取組予定] 歴史学講座： 市内の歴史に関する講座を開催し、最終回には各地区城跡・古戦場跡等、ゆかりの史跡を訪ねるフィールドワークを予定している。 郷土学講座： 文化財についての興味関心を育てるとともに、知識を得る場としてフィールドワークを予定している。	[市全体] 〔成績〕 [課題] [今後の取組]

16	市内遺跡発掘調査等事業	<p>【取組予定】 各種開発行為から市内の遺跡を保護するため に、情報収集、事業者との協議、試掘確認調 査、工事立会などを実施している。 市内の重要遺跡などを確認し、保存と 将来の史跡整備に向けての資料の蓄積を行つ てある。調査成果は現地説明会の開催や発掘調査 報告書の作成、広報誌への掲載等により広く伝 える手段を講じている。 史跡土佐国分寺の寺域を確認し、将来の追加指 定を目指すために、県内外の有識者による土佐 国分寺跡調査指導委員会を開催する。</p>	<p>【成果】</p> <p>【課題】</p>
17	②市民文化の振興	<p>【取組予定】 年間を通じ、文化講座（25講座）として「NPO 法人まほろばクラブ南国」に事業委託をして いる。また、高校・大学等との連携事業とし て、高知高専と共に教養講座を実施する予定。</p>	<p>【成果】</p> <p>【課題】</p> <p>【今後の取組】</p>
18	③芸術文化の振興	<p>【取組予定】 第62回南国市美術展覧会を大人と子どもとの同時 開催で実施予定である。</p>	<p>【成果】</p> <p>【課題】</p> <p>【今後の取組】</p>

令和4年度新規及び上記事務事業計画表に入っていないものの
取組予定

事業名	該当校等	R4担当者
1 地域交流センター運営事業	全域	前田 500席のホールを持つ文化施設が竣工したため、令和4年4月から施設の貸出を開始する。 今後は、年度内外構工事を行い敷地内駐車場整備等を進めていく。